

図書館 だより

問い合わせ先

泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>



旅行、料理、経済、実用書、小説、児童書、絵本などたくさんの新着本を取り揃えています。あなたの読みたい本を教えてください。ご要望に沿えるよう、スタッフ一同頑張ります！（中央公民館図書室）

新着・お薦め図書

泗水図書館

霖雨 著 葉室 麟
 夜をぶつとばせ 著 井上 荒野
 叛鬼 著 伊藤 潤
 うぶふな日々 著 あさのあつこ
 食といのち 著 辰日 芳子
 飼い喰い 三匹の豚とわたし 著 内澤 旬子
 ドレスを着た男子 デイヴィッド・ウォリアムズ 著
 こころの家 イヴォナ・フミエフスカ 著
 絵気分上々 著 森 絵都

中央公民館図書室

熊本県人 著 わたなべ 京二
 ここはボツコニアン 著 宮部 みゆき
 勇者様にいきなり求婚されたのですが 著 富樫 聖夜
 おねがいフェアリー7 著 みずの まい
 ねんねのうた 著 いちかわ くにこ

七城公民館図書室

僕はお父さんを訴えます 著 友井 羊
 泣き虫チエ子さん1 著 益田 ミリ

旭志公民館図書室

ようちえんがばけますよ 著 宮本 文雄
 朱鳥の陵 著 宮 次男

停電の夜に ジュンパ・ラヒリ 著 (出版社 新潮社)
 午後8時から1時間だけ5日間の停電。そのろうそくの灯されたキッチンで秘密を打ち明け合う若夫婦。ゆらめく光りが二人の微妙な距離感を暗示し最後の夜が訪れた時…。インド系女流作家ならではの作品背景で描く表題を含む味わい深い9編の短編集。(泗水)



くまくんと6ぴきのしろいねずみ クリス・ウォーメル 著 (出版社 徳間書店)
 ある日の夕方、ぬいぐるみのくまくんは散歩にでかけました。森にやってきたくまくんは、6ぴきの迷子になったしろいねずみと出会います。森のおそろしい獣からねずみを守るためのくまくんのアイデアとは…。くすくすと笑える楽しい絵本です。(中央)



ねごさかなのたまご わたなべ ゆういち 著 (出版社 フレーベル館)
 ねごとさかなはとても仲良し。ときどき、ねごさかなの中に入ってねごさかなになります。ある日、ジャングルの中でたまごを見つけました。何のたまごかな？さっそくねごさかなになってあたためてみると… (七城)



じごくのラーメンヤ 刈田 澄子 著 (出版社 教育画劇)
 じごくって知ってる？まっかな血の池があるこわーいところ。そんなじごくにラーメンやができたらしい。それは、からいからい血の池ラーメン。これを全部食べたら天国へ行けるよ。お店はいつも大行列。さあ、誰か全部食べることができそうですか。(旭志)



耳より情報

～おたのしみ会特別企画～

「ぬいぐるみと一緒にのおはなし会」
 と き 7月15日(日) 午後2時～
 ぬいぐるみを一緒につれてきてね。
「ぬいぐるみのお泊まり会」(定員20名)
 と き 7月15日(日)～7月17日(火)
 ぬいぐるみを図書館にお泊まりさせてみよう！
 夜の図書館でぬいぐるみたちはどんな事をするのかな？
 その様子をカードにしてプレゼントします。
 ※詳しくは館内配布のチラシまたはホームページをご覧ください。
 問い合わせ・申込先 泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866

第3回読書感想画・ブックレター募集

旭志公民館図書室で今年も募集します。入賞者は菊池市旭志文化祭で表彰します。
 詳しい内容は、旭志公民館図書室までお問い合わせください。皆さんからの応募をお待ちしています。
募集期間 7月23日(月)～9月29日(土)
問い合わせ・申込先 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111

万句の里俳句会 5月例会

雨の糸よひらの咲きて紺深し 東 鈴子
 青空の下は大地の麦の秋 丸山美代子
 阿蘇五岳くつきり映す田代かな 岩木 敬治
 仏壇に話しかけては新茶酌む 打出 貞
 まむし草なぜか向かうをむいてをり 野中 君枝

せせらぎ俳句会 5月例会

更衣すがしき風の縁に佇ち 村山 数恵
 法要に故人の育てし花苜蓿 服部 静子
 春愁や音を引きずる古時計 五丁 義昭
 母の日や物無き時の母偲ぶ 藤本アツ子
 幾許の余生許され新茶くむ 藤本 邦治

旭志文芸教室俳句会 5月詠草

春うらら園児が担ぐ樽神輿 水谷 ミネ
 せせらぎの小波ひかり若葉風 芹川 のり子
 野苺を摘めば遠き日蘇る 中尾 ヨシコ

湧く水の流れさらさら芹を摘む 芹川 蓉子

待った 待った メールで届くサクラ咲く
 てれえっと 幸せちゆうはごぎゃん 光堀 善教
 待った 待った 包丁も研ぎ坊主とは 上村 ○子
 両方から 攻められてもう逃げられん 小川 繁美
 ずばり 正論吐くとは嫌はるる 狩野 本六

肥後狂句水笑会 5月例会

一遍どま 愛しててち言うてみれ 井手 水光
 一遍どま あの世とやらば見てみた 柏原 乗仏
 あくしやなもん 草は暇なし生えちくる 御手洗三代
 春うらら 着物もやっとな軽くなった 平井 江彩
 先進医療 だけんお墓も先送り 宮上 美由

七城短歌会 5月詠草

庭隈にタンポポの花一つ咲く穂綿飛び散る春が間もなし 松岡ミチエ
 花畑にピンクの小花咲きほこり両手に包み名を問うわれは 高木 精

夫看取り手抜きし庭とりどりの花が賑あう春を待たなむ 池田カツ子

色付きしサクラランボ鳥の啄みぬ孫の記念樹を知る由もがな 木下 陽子
 煙草畑は裏白見せて翻り招くがごとく風渡りゆく 村上 幾雄

高齢者 5月歌会

陽を浴みて朝の散歩は楽しかり吾を迎ふる菜の花の道 中津 ツユ
 足痛め意のままならぬ日々なれど友の励まし心に沁みる 今坂 文子
 みつ桜によき短歌うまれよ 氏岡 百枝
 さざ波のごとく寄せ来る「花」の歌 雲田 郁子
 詞花散りし今再び思ふ 北村 玉恵
 念願の先祖の碑建て安堵せり亡き夫植ゑし白牡丹咲く 黒田 衣子

菊池短歌会 6月詠草

五月風棕櫚の葉鳴らす夕まぐれとりとめもなき思ひめぐらす 黒田 衣子
 こもりゐて童話の世界にあそびをり至福のときぞわが戯作三昧 古賀 勝士
 いつ咲きて散りし棟かその陰を待みて寄する野の車椅子 竹野美智代



文芸 きくち

新緑に卒寿近づくとクラス会本音語り泣き笑ひする 中川 愛子
 育てたる金魚草二本枝殖えて家族のさまにこんもりと咲く 中原ちえ子